

1 研修目的

自校で発生した事故（けが）の状況を把握することで教職員間の事故防止に対する意識を高めるとともに、過去に発生した事故事例から、事故を未然に防ぐための手立てを考え、具体的な予防策を講じることができるようにする。

2 研修の概要

過去に発生したヒヤリハット事例を基に、事故を未然に防止するための具体的な手立てについて検討するワークショップ研修を行い、日常における児童生徒への安全指導や校内での安全管理体制の構築につなげる。

3 進め方のポイント

- (1) 導入場面では、自校において発生した事故（けが）の発生状況を提示することで、事故の未然防止に対する教職員間の意識を高め、共通理解を図る。
- (2) 自校で発生した事故の特徴や過去に発生したヒヤリハット事例を基に、「けがを未然に防止するにはどうしたらよいか」というテーマでワークショップ研修を行い、様々な視点や角度からグループ内で意見を出し合う。
- (3) 出された意見や考えを模造紙にまとめ、今後の安全管理や児童生徒に対する安全指導に生かせるよう、校内において共通理解を図る。

4 準備物

- 進行スライド（※各学校の実情に応じて修正可能）
- パソコン（タブレット）、プロジェクター、スクリーン（モニター）
- （自校の）保健室利用記録
- 筆記用具、模造紙、付箋、マーカー（ホワイトボードや Google Jamboard 等の活用も可能）



5 研修のイメージ

<導入>

今年度のけがの状況説明



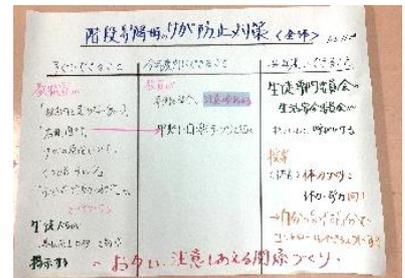
<展開>

けがの未然防止を検討



<まとめ>

今後の防止策と役割分担



6 研修に参加した先生の声

- 本校の事例を基に短時間で、けがの防止策について全職員で考えることができました。今後の校内での役割分担まで決めることができ、とても有意義な研修でした。
- けがの防止策について、今まで考える機会がなかったのでとても新鮮でした。けがが発生してから注意するのではなく、未然防止に取り組むことの大切さに気がきました。



7 研修の進め方（例）【30分】

時間	内容	進め方	資料等
導入 (5分)	<p>1 自校におけるけがの発生状況等について理解する。【一斉】</p> <p>2 実際に発生した事例から、事故が発生した場面を想像する。【個人】</p>	<p>○自校の保健室利用記録から、今年度のけがの発生状況等について説明し、本研修の目的を確認させる。</p> <p>○実際に発生した事故事例を提示し、空欄部分の内容についてイメージさせる。 ※各学校の実情に応じて、事故事例を選択し、より効果的な研修となるよう工夫する。</p>	<p>進行スライド(1-4) 保健室利用状況（けが）グラフ等 資料1</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【事例】2023年5月 <足関節捻挫、靭帯損傷> 授業場所に移動のため、急いで階段を下りていた。 その際、</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right;">立ち上がれなかった。</p> </div>			
展開 (15分)	<p>3 具体的な事故防止策について考える。【個人】【グループ】</p>	<p>○事故防止策として、「すぐにできること」「年度内にできること」「来年度にできること」3つの視点で、自分の意見を付箋に書く。</p> <p>○グループ内で意見を共有し、上記3つの視点で分類する。</p> <p>○考えた事故防止策は、「どの分掌部会」の「誰が」立案し、取り組んでいくか、確認する。</p>	<p>進行スライド(5-6) 模造紙 付箋 マーカー</p>
まとめ (10分)	<p>4 各グループで考えたことを全体で発表し、今後の対策について全体で共有する。【一斉】</p>	<p>○グループで考えたことを全体で発表させ、今後の安全指導や安全管理体制の構築につながるよう、全体で共通理解を図る。</p>	<p>進行スライド(7)</p>

<活用資料>

○（資料1）「学校等事故事例検索データベース」

（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

